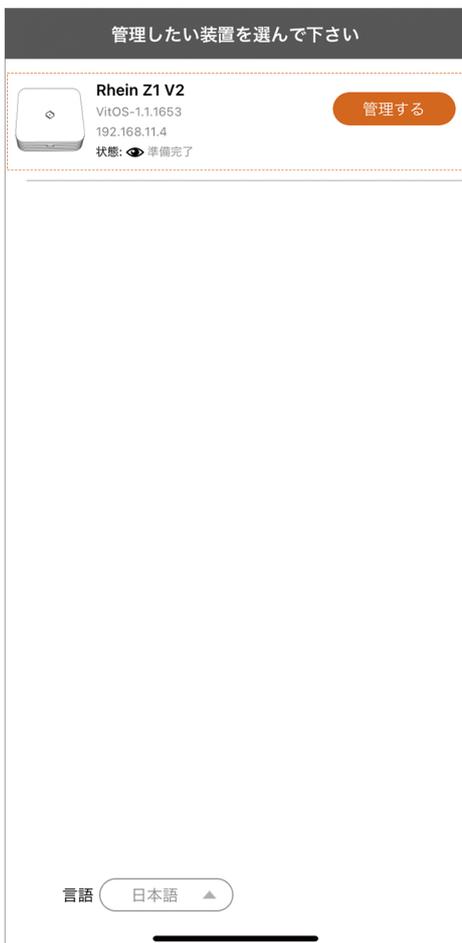




Spotify Connectの使い方

1: Z1にSpotify Connectをインストール

最初に、お使いのiOS/androidデバイスに“VitOS Manager”をインストールし、デバイスをZ1と同じネットワークに接続します。Z1の電源を入れ、“VitOS Manager”を開くと、次の画像のように、VitOS Manager上でZ1が見つかります。



“管理する”をタップします。

Rhein Z1 V2

データディスク (1TB) :

利用可能な 915GB の 900.1GB (98%)

アプリケーション

-  Roon Server
インストールされていない >
-  Spotify Connect
インストールされていない >
-  AirPlay 2
インストールされていない >
-  MinimServer
インストールされていない >
-  ReadyMedia
インストールされていない >
-  DLNA レンダラー
インストールされていない >

音楽のバックアップ

内部のデータディスクから音楽をバックアップして外にUSBメモリを接続します >

音楽インポーター

外部 USB ディスクからデータディスクに音楽をインポートします >

設定

装置を設定するか、言語を変更してください >

アプリケーション内の“Spotify Connect”をタップします。

< Spotify Connect



状態：インストールされていない

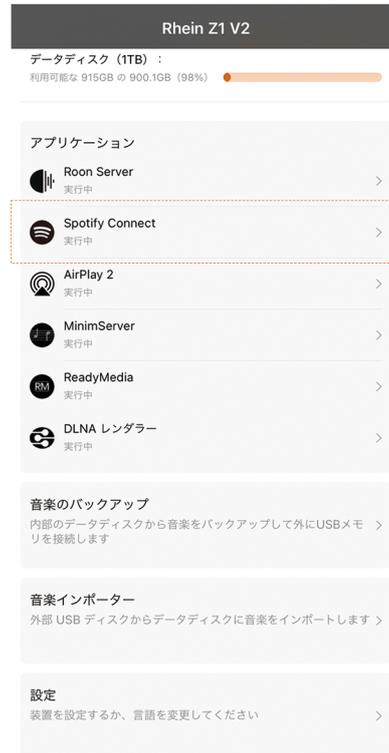
インストール

“インストール”をタップするとSpotify ConnectをZ1にインストールします。

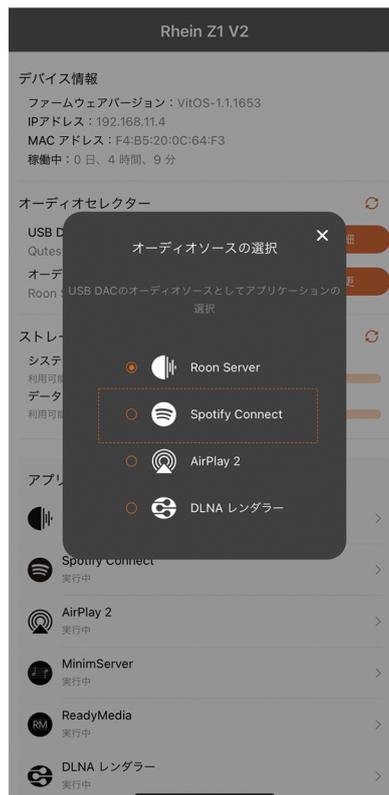
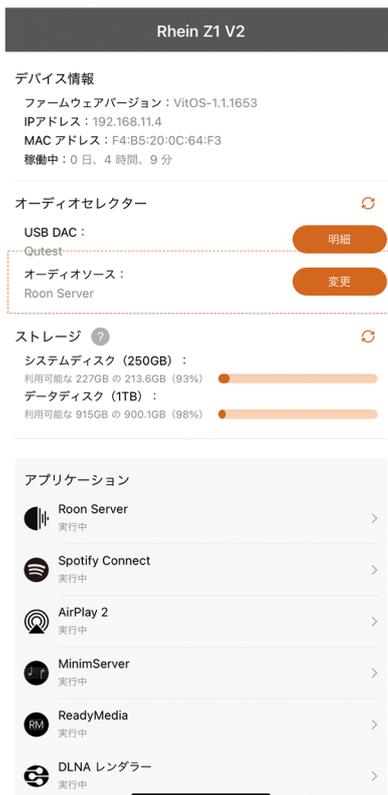
スマホ、タブレット、パソコンをリモコンにして、Spotify で音楽を楽しめます。詳しくは spotify.com/connect をご覧ください。



インストールが終わると、下記画像の通り、Spotify Connectの状態が“実行中”になります。Spotify Connectページ、設定画面のトップページのどちらも実行中になります。これでSpotify Connectがインストールできました。



Spotify Connectを使用する前に、設定画面のトップページにある“オーディオソース”を“Spotify Connect”に変更してください。

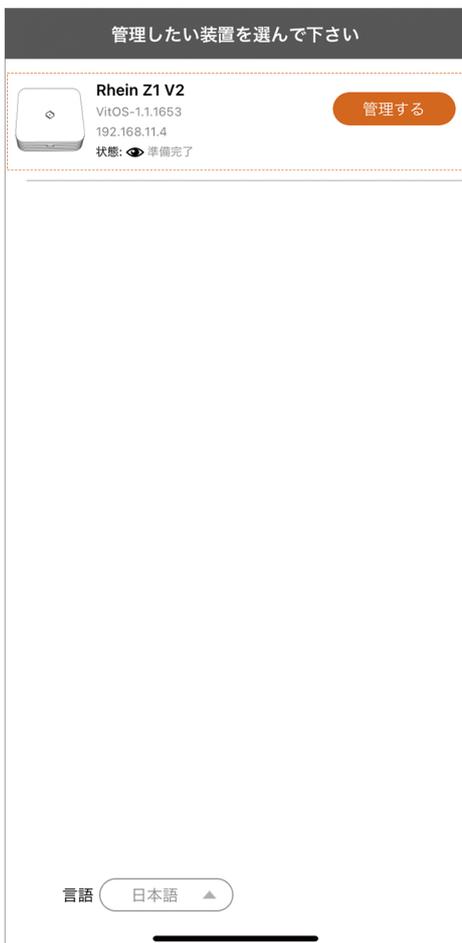




AirPlay 2の使い方

1: Z1にAirPlay 2をインストール

最初に、お使いのiOSデバイスに“VitOS Manager”をインストールし、デバイスをZ1と同じネットワークに接続します。Z1の電源を入れ、“VitOS Manager”を開くと、次の画像のように、VitOS Manager上でZ1が見つかります。この時、iOSは最新の状態にアップデートしておいてください。



“管理する”をタップします。

Rhein Z1 V2

データディスク (1TB) :

利用可能な 915GB の 900.1GB (98%)

アプリケーション

-  Roon Server
インストールされていない >
-  Spotify Connect
インストールされていない >
-  AirPlay 2
インストールされていない >
-  MinimServer
インストールされていない >
-  ReadyMedia
インストールされていない >
-  DLNA レンダラー
インストールされていない >

音楽のバックアップ

内部のデータディスクから音楽をバックアップして外にUSBメモリを接続します >

音楽インポーター

外部 USB ディスクからデータディスクに音楽をインポートします >

設定

装置を設定するか、言語を変更してください >

アプリケーション内の“AirPlay 2”をタップします。

AirPlay 2



状態：インストールされていない

インストール

“インストール”をタップするとAirPlay 2をZ1にインストールします。

この VitOS 装置には AirPlay 2 をインストールして実行します。Apple 装置を使用して、この VitOS 装置に接続された USB DAC で音楽をコントロールおよび再生できます。

[\[もっと詳しく知りたい\]](#)



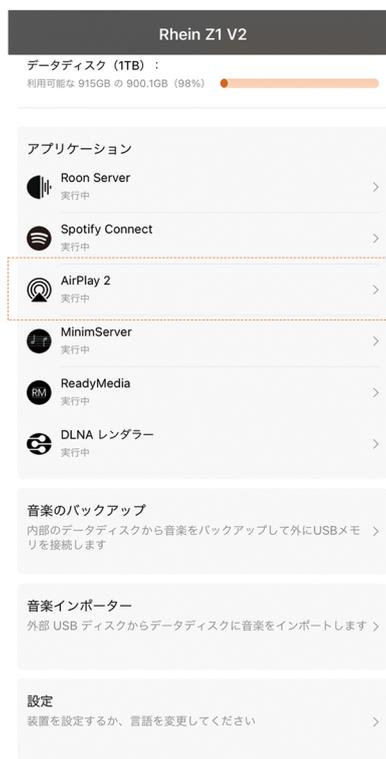
Legal Information:

Apple, AirPlay, iPad, iPad Air, iPad Pro and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

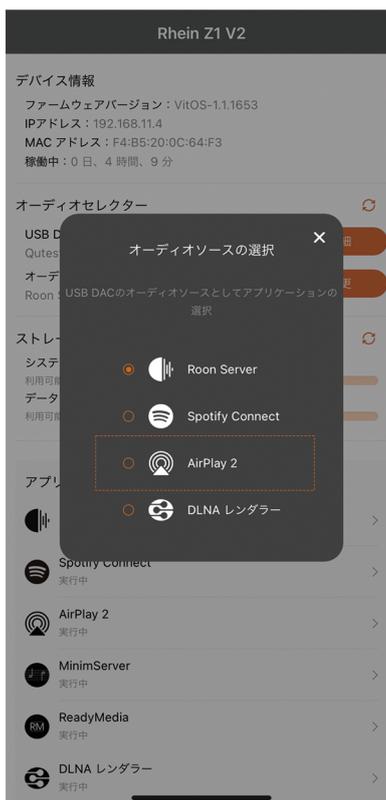
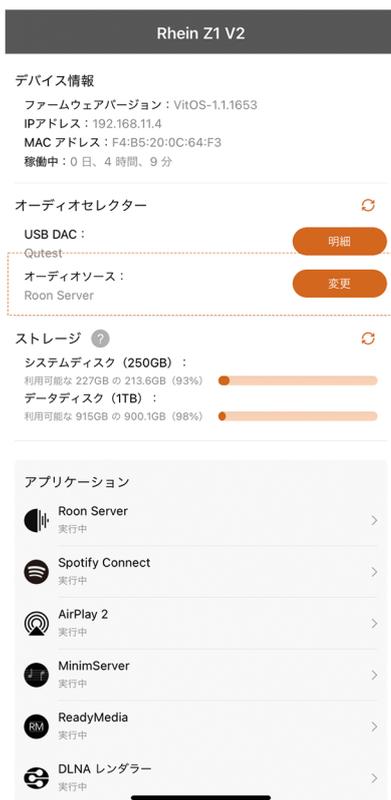
The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

インストールが終わると、下記画像の通り、AirPlay 2の状態が“実行中”になります。AirPlay 2ページ、設定画面のトップページのどちらも実行中になります。これでAirPlay 2がインストールできました。



AirPlay 2を使用する前に、設定画面のトップページにある“オーディオソース”を“AirPlay 2”に変更してください。

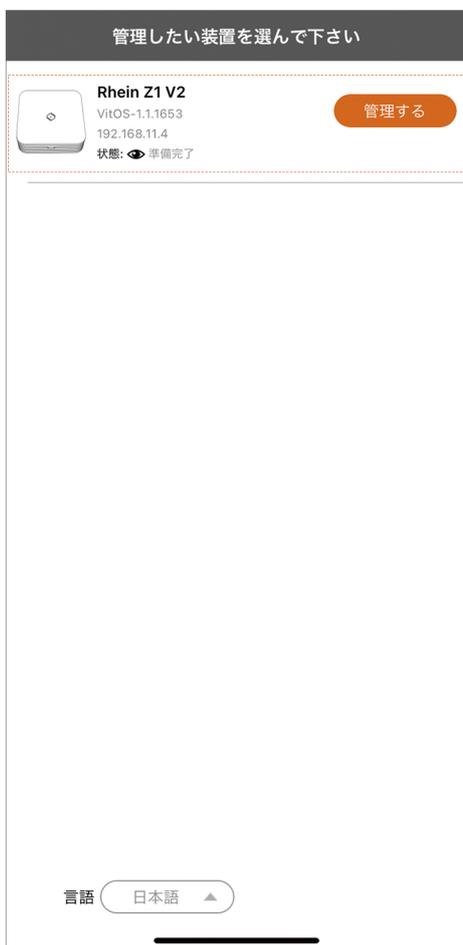




DLNAレンダラーの使い方

1: Z1にDLNAレンダラーをインストール

最初に、お使いのiOS/androidデバイスに“VitOS Manager”をインストールし、デバイスをZ1と同じネットワークに接続します。Z1の電源を入れ、“VitOS Manager”を開くと、次の画像のように、VitOS Manager上でZ1が見つかります。



“管理する”をタップします。

Rhein Z1 V2

データディスク (1TB) :

利用可能な 915GB の 900.1GB (98%)

アプリケーション

-  Roon Server
インストールされていない >
-  Spotify Connect
インストールされていない >
-  AirPlay 2
インストールされていない >
-  MinimServer
インストールされていない >
-  ReadyMedia
インストールされていない >
-  DLNA レンダラー
インストールされていない >

音楽のバックアップ

内部のデータディスクから音楽をバックアップして外にUSBメモリを接続します >

音楽インポーター

外部 USB ディスクからデータディスクに音楽をインポートします >

設定

装置を設定するか、言語を変更してください >

アプリケーション内の“DLNAレンダラー”をタップします。

< DLNA レンダラー



状態：インストールされていない

インストール

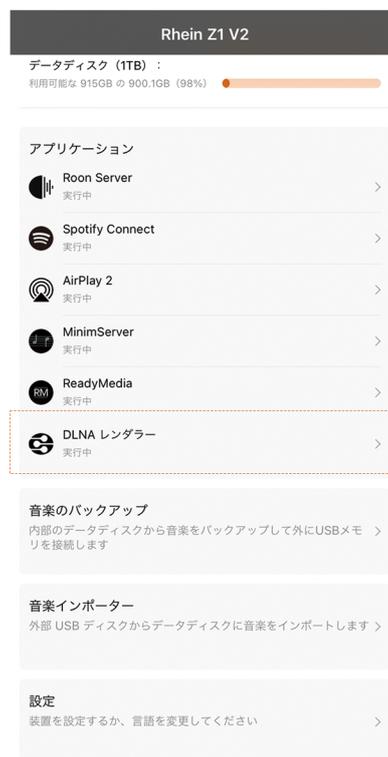
“インストール”をタップするとDLNAレンダラーをZ1にインストールします。

DLNA レンダラーは、DLNA / UPnP 標準と互換性のある音楽再生アプリケーションです。DLNA コントローラを使用して DLNA レンダラーを制御し、DLNA サーバでの音楽を再生できます。

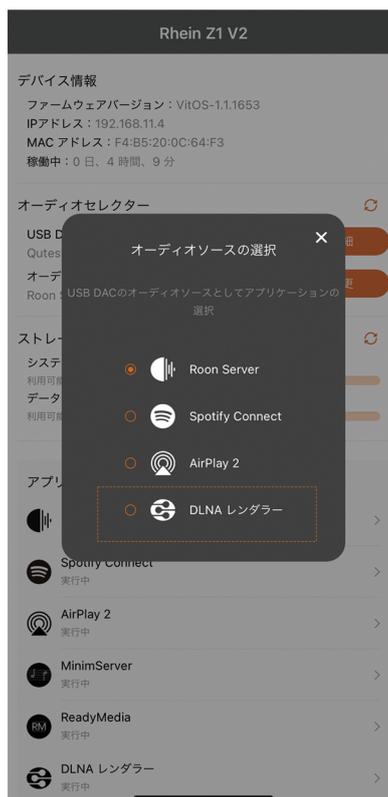
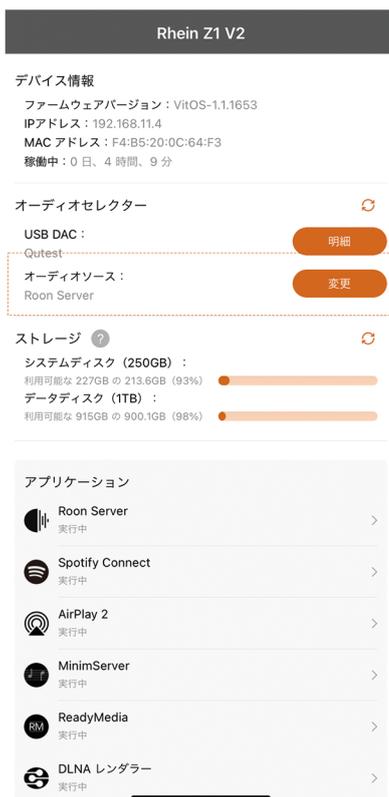
[\[もっと詳しく知りたい\]](#)

[\[ビューライセンス\]](#)

インストールが終わると、下記画像の通り、DLNAレンダラーの状態が“実行中”になります。DLNAレンダラーページ、設定画面のトップページのどちらも実行中になります。これでDLNAレンダラーがインストールできました。



DLNAレンダラーを使用する前に、設定画面のトップページにある“オーディオソース”を“DLNAレンダラー”に変更してください。

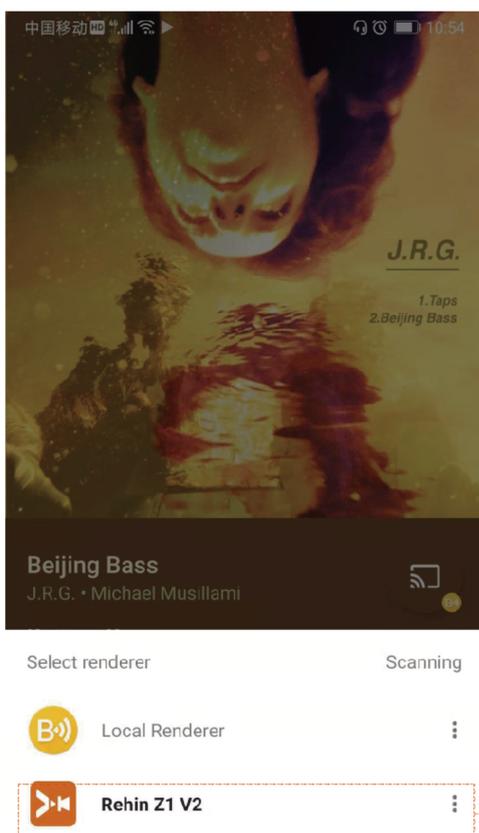


2:コントロールアプリで音楽を再生する

DLNAのコントロールアプリを使い（推奨:Bubble UPnP,mconnect,Audirvana,JRiver）、Z1をDLNAレンダラーとして操作できます。Bubble UPnPを例に操作方法を説明します。



“Now Playing”ページのこちらのボタンをタップし、“Select renderer”ページを表示します。

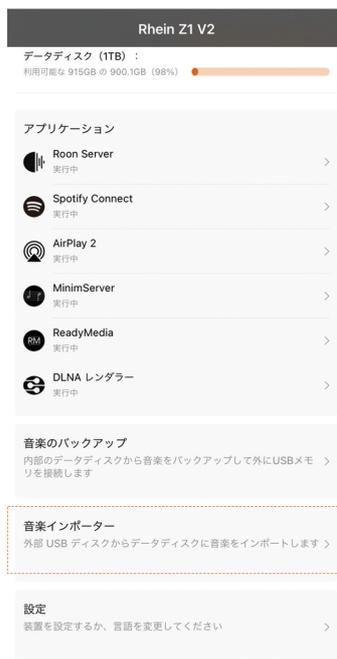


“Select renderer”ページ内の“Z1”を選択します。



内蔵ストレージへの音楽データのインポート

1-1: 外部USBディスクからインポート



“VitOS Manager”よりZ1の管理画面を開き、「音楽インポーター」をタップします。

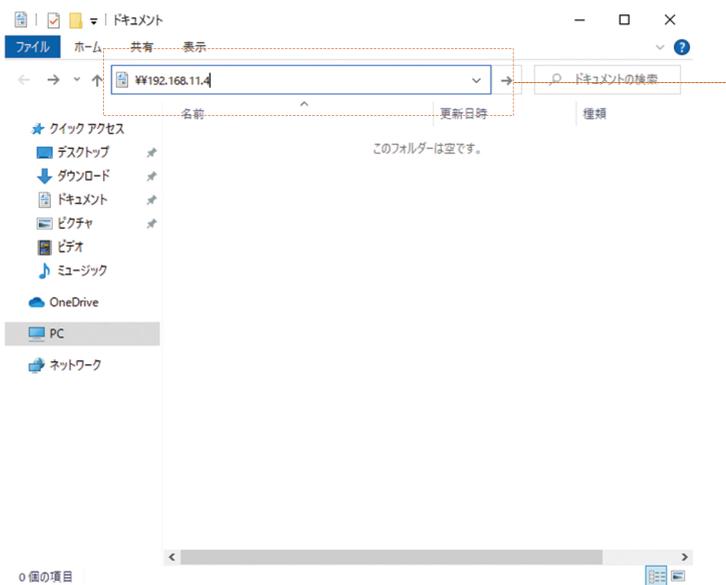


画面の指示通り、Z1背面のUSB3.0ポートにUSBディスク（USBメモリ、USB接続HDD等）を接続し、更新ボタンをタップしてください。

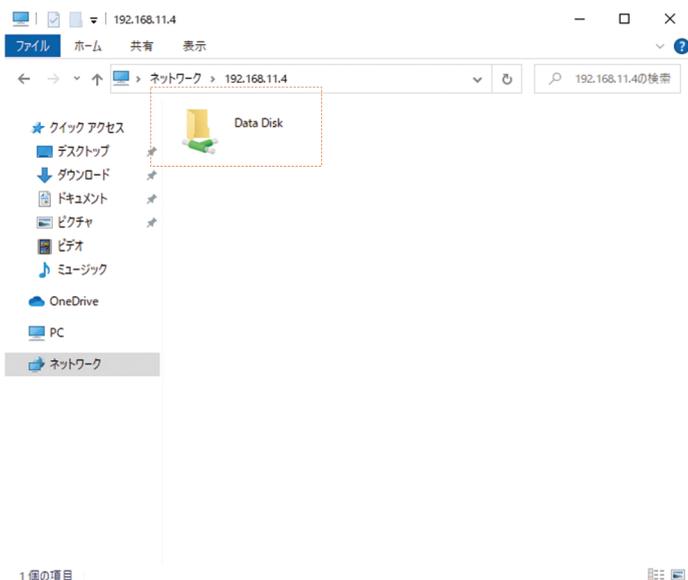


内蔵ストレージへの音楽データのインポート

1-2: パソコンからインポート



エクスプローラーのアドレスバーにZ1のIPアドレスを指定することでアクセスできます。「¥¥ (円マーク2つ)」に続けてZ1のIPアドレスを入力してください。IPアドレスはVitOS Managerのデバイス管理画面トップにあるデバイス情報で確認できます。



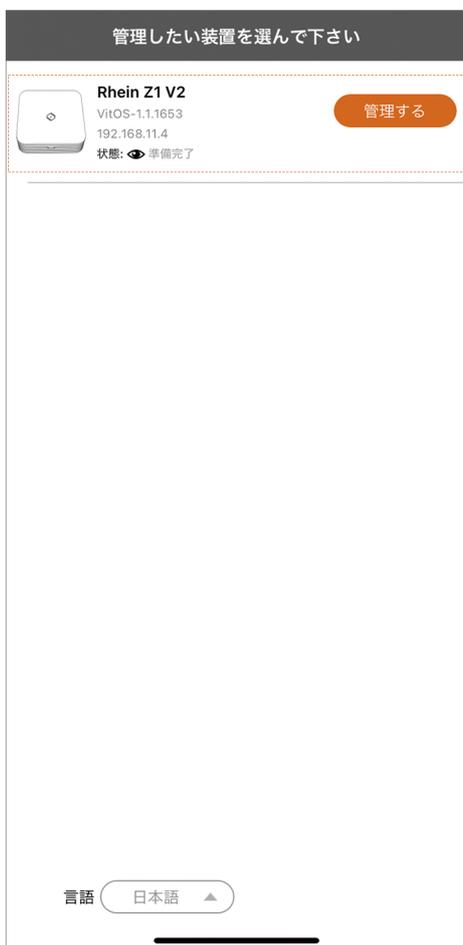
Data Disk内に音楽データをコピーしてください。



内蔵ストレージへの音楽データのインポート

2-1:ReadyMediaのインストール

最初に、お使いのiOS/androidデバイスに“VitOS Manager”をインストールし、デバイスをZ1と同じネットワークに接続します。Z1の電源を入れ、“VitOS Manager”を開くと、次の画像のように、VitOS Manager上でZ1が見つかります。



“管理する”をタップします。

Rhein Z1 V2

データディスク (1TB) :

利用可能な 915GB の 900.1GB (98%)

アプリケーション

-  Roon Server
インストールされていない >
-  Spotify Connect
インストールされていない >
-  AirPlay 2
インストールされていない >
-  MinimServer
インストールされていない >
-  ReadyMedia
インストールされていない >
-  DLNA レンダラー
インストールされていない >

音楽のバックアップ

内部のデータディスクから音楽をバックアップして外にUSBメモリを接続します >

音楽インポーター

外部 USB ディスクからデータディスクに音楽をインポートします >

設定

装置を設定するか、言語を変更してください >

アプリケーション内の"ReadyMedia"をタップします。



ReadyMedia



状態: インストールされていない

インストール

"インストール"をタップするとReadyMediaをZ1にインストールします。

ReadyMedia (以前はMiniDLNAと呼ばれていました) は、VitOS デバイス用のデータディスク付き DLNA サーバである。この VitOS 装置に ReadyMedia をインストールした後、DLNA 対応の機器やソフトウェアを使ってデータディスクの音楽を閲覧したり、再生したりすることができます。

[\[もっと詳しく知りたい\]](#)

[\[ビューライセンス\]](#)



内蔵ストレージへの音楽データのインポート

2-2: 音楽データのスキャン



ReadyMedia設定内の“音楽ファイルを再スキャン”をタップします。内蔵ストレージにコピーした音楽データをスキャンし、再生が可能になります。

2-3: トランスコード設定



ReadyMedia設定で音楽データをトランスコードすることができます。デフォルトはCD品質（44.1KHz/16bit）のWAVになっています。再生環境に合わせて、“トランスコードしない”、“CD品質”、“カスタム”から選択してください。

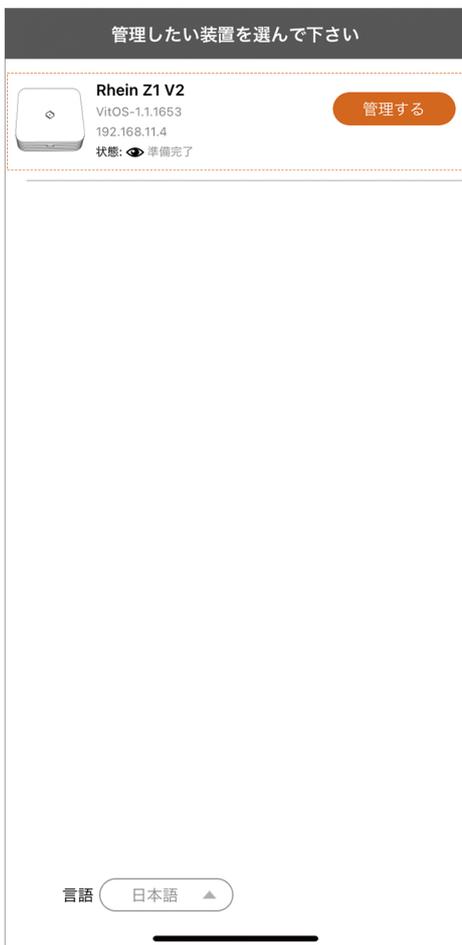
選択後、応用をタップすると設定が反映されます。



Roon Serverの使い方

1: Z1にRoon Serverをインストール

最初に、お使いのiOS/androidデバイスに“VitOS Manager”をインストールし、デバイスをZ1と同じネットワークに接続します。Z1の電源を入れ、“VitOS Manager”を開くと、次の画像のように、VitOS Manager上でZ1が見つかります。



“管理する”をタップします。

Rhein Z1 V2

データディスク (1TB) :

利用可能な 915GB の 900.1GB (98%)

アプリケーション

-  Roon Server
インストールされていない >
-  Spotify Connect
インストールされていない >
-  AirPlay 2
インストールされていない >
-  MinimServer
インストールされていない >
-  ReadyMedia
インストールされていない >
-  DLNA レンダラー
インストールされていない >

音楽のバックアップ

内部のデータディスクから音楽をバックアップして外にUSBメモリを接続します >

音楽インポーター

外部 USB ディスクからデータディスクに音楽をインポートします >

設定

装置を設定するか、言語を変更してください >

アプリケーション内の“DLNAレンダラー”をタップします。

Roon Server



状態：インストールされていない

インストール

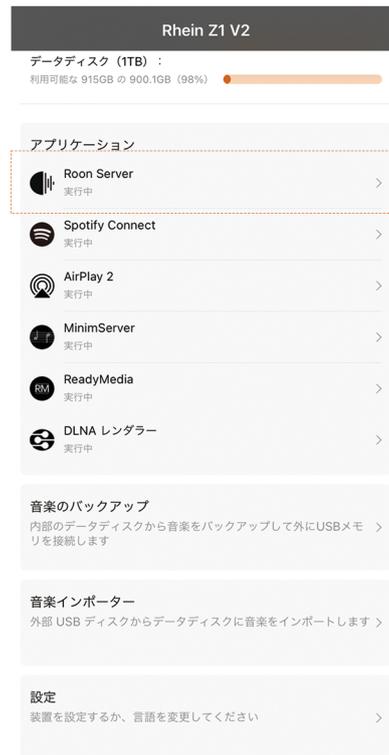
“インストール”をタップするとRoon ServerをZ1にインストールします。

Roon Server は、音楽とやり取りするためにまったく異なるアプローチをとる音楽管理および再生ソリューションです。スプレッドシートのようにあなたの音楽を見るのではなく (iTunes や他のほとんどすべてのメディアシステムのように)、Roon はクレジット、アーティストの関係、ジャンル、歌詞、コンサート/ツアーの日程、アートワークを使った非常に豊富な非リストベースの体験を提供します。そして、あなたのライブラリの有益なナビゲーションと探査を可能にするためにもっと。

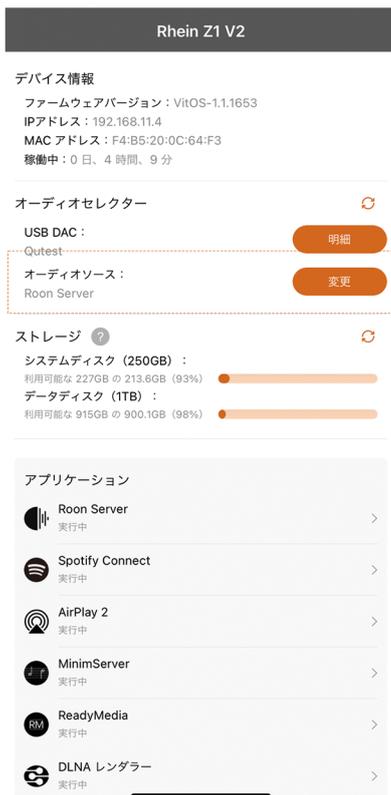
この装置に Roon Server をインストールするには、上の「インストール」ボタンをクリックしてください。

[\[もっと詳しく知りたい\]](#)

インストールが終わると、下記画像の通り、Roon Serverの状態が”実行中”になります。Roon Serverページ、設定画面のトップページのどちらも実行中になります。これでRoon Serverがインストールできました。



Roonを使用する前に、設定画面のトップページにある”オーディオソース”を”Roon Server”に変更してください。

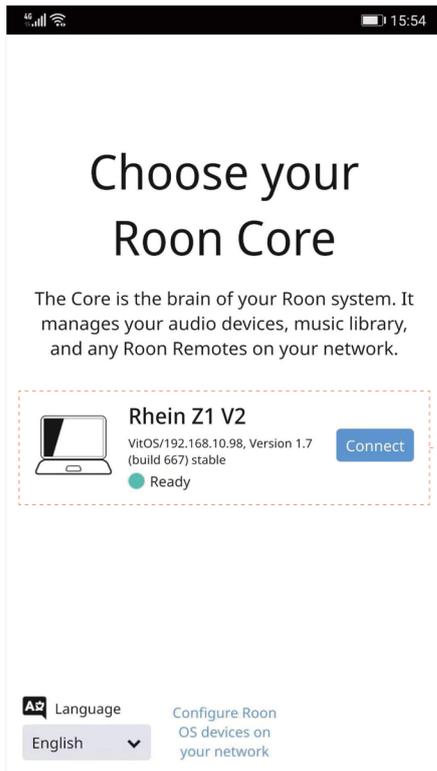


2:Roon Remote appのセットアップ

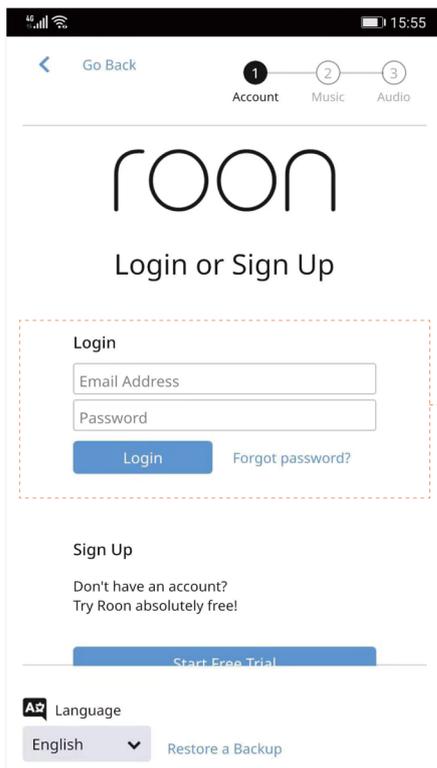
Roon Remote appを使用して、Z1を接続・操作することができます。まず最初に、お使いのモバイルデバイスに対応したRoon Remote appをインストールしてください。

Z1の接続とRoonアカウントへのログイン

Roon Remote appを開き、“Rhein Z1 V2”が表示されるまでお待ち下さい。Z1が表示されたら、“Connect”をタップしてください。Z1に接続し、Roonアカウントのログインページが表示されます。



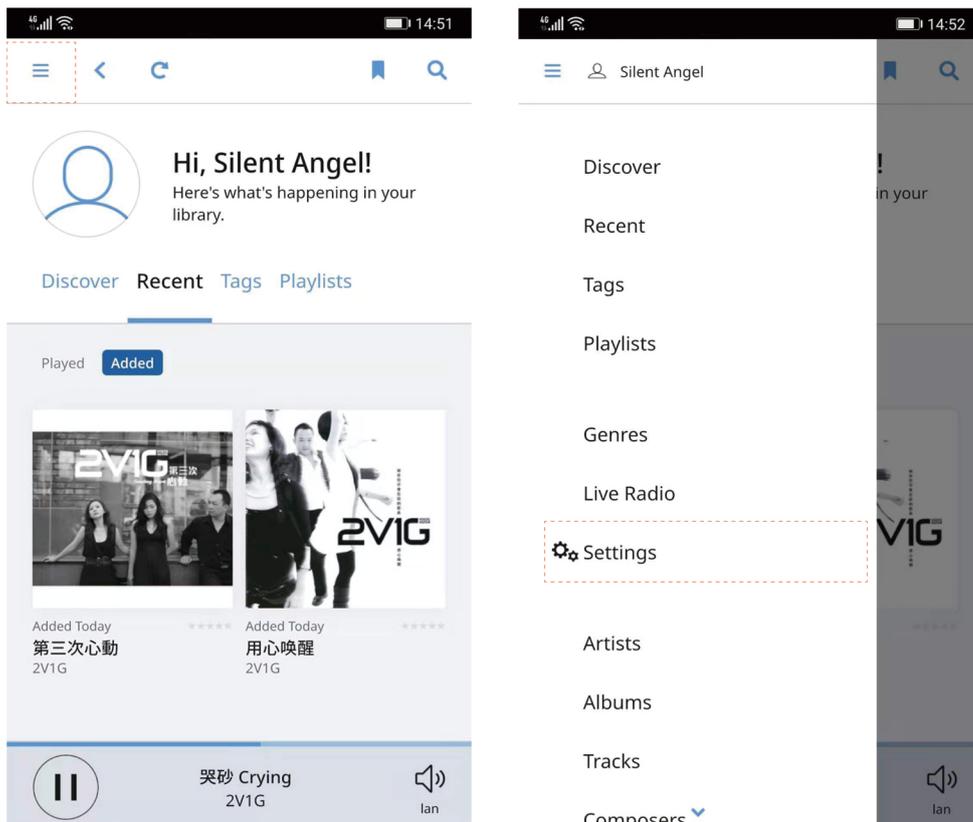
“Connect”をタップしてください。



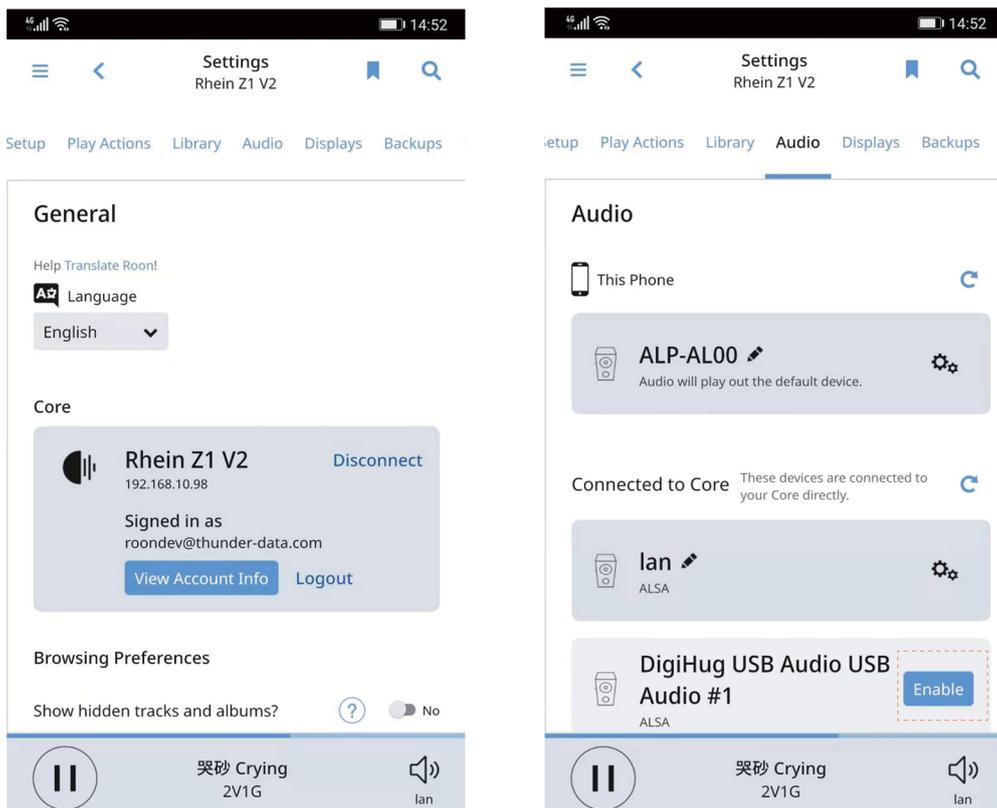
メールアドレスとパスワードを入力し、Roonアカウントにログインしてください。

Z1に接続したDACから出力する

左上にあるメニューボタンをタップし、“Settings”を選択し、設定ページに入ります。

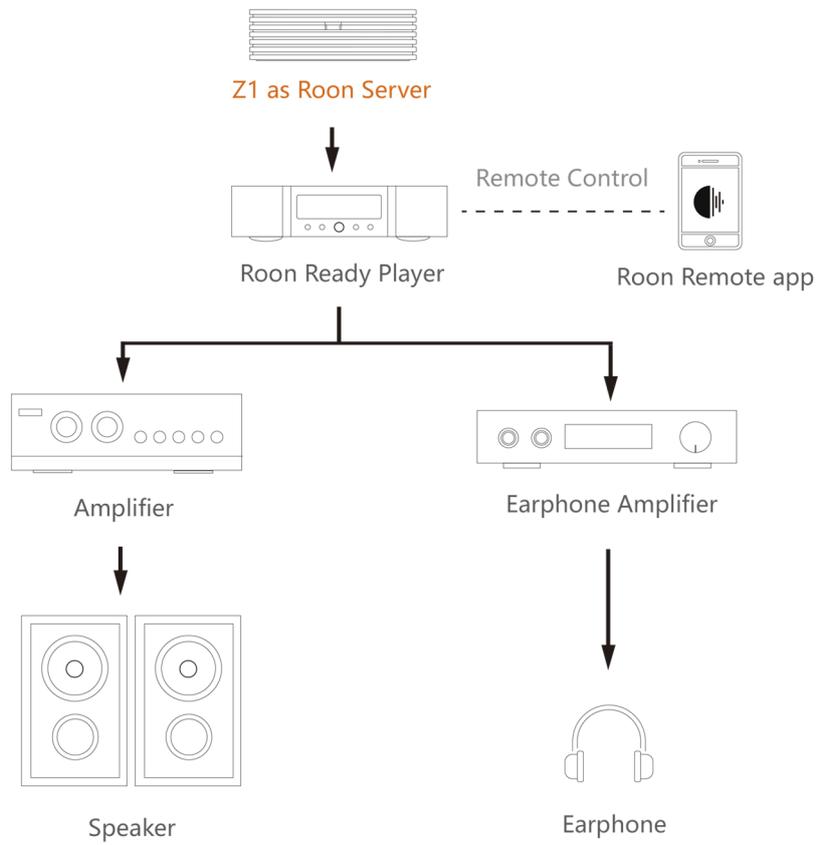


設定ページ上部のメニューから“Audio”を選択し、Audio設定ページに入ります。“Connected to Core”の下に、Z1に接続したDACが表示されるので、“Enable”をタップしてください。



接続例

■Z1をRoon Serverとして使う場合



■Z1をRoon Server、Roon Playerとして使う場合

